



ほんだもり7月

中妻子供の家保育園

2021/7/1発行

暑い日が続くようになり、本格的な夏がやってきます。熱中症が心配な時期は、体調を崩しやすい時期でもあります。こまめに水分を摂取して環境作りに配慮し、子どもたちの様子の変化に気を配っていきましょう。



気をつけよう！夏の感染症



ヘルパーギーナ

高熱が2～3日続き、のどの痛みや、のどに赤い粘膜疹や、水泡が見られ、水泡がつぶれて潰瘍をつくることもあります。

手足口病

手の平や足の裏、口の中に小さな発疹や水泡ができ、熱い出ることがあります。



プール熱

39°C前後の発熱と、のどの痛みがあり、目のかゆみ・痛み・充血・涙などの症状があります。



流行性角結膜炎

目の腫れ、充血が見られ普段より多く目やにが出ます。

RSウイルス

軽いかぜに似た症状で、発熱・鼻水・鼻づまり・咳が出ます。何回も感染するどこにでもいるかぜウイルスです。

1才未満、特に6カ月未満においては、重症化することがありますので注意が必要です。

気をつけて（おたふくかぜ）

1歳以上になると、おたふくかぜ（流行性耳下腺炎）の予防接種を受けることができます。

* 予防接種、健診のお知らせを掲示していましたが忘れずに！



保健室からのお知らせ

歯科衛生士 小笠原裕子さんによる口腔内ケア

（歯ッピーチェック）が6月3（木）4日（金）無事に終了しました。詳細は、結果が届き次第配布いたします。よいアドバイスや励ましの声がたくさんつまっていますので、参考にしながら、今後の歯磨きをしっかりと行い、子どもの歯の健康を守っていきましょう。

